

### 都市環境デザイン専修 2018卒業プロジェクト展・学外展

メディアアプロデュース学部メディアアプロデュース学科都市環境デザイン専修(現・創造表現学部創造表現学科建築・インテリアデザイン専攻)では、毎年、名古屋市民ギャラリー米で卒業プロジェクト展・学外展を行っています。今年は2月20日から6日間にわたって開催されました。卒業プロジェクトに参加した51人の作品のうち、学内展で高い評価を受けた設計・制作16点、論文8編が学外展に出展されました。2月24日には建築家久野紀光氏、末光弘和氏のご協力により、学外審査会、学外展賞を実施し、参加学生がプレゼンテーションしました。プロの視点からアドバイスが寄せられ、建築の専門性がさらに深まる貴重な機会になりました。



### メディアアプロデュース学部 メディアコミュニケーション専修 卒業プロジェクト展

「第5回愛知淑徳大学メディアコミュニケーション専修卒業プロジェクト展」を2月6日から2月12日まで、名古屋市民ギャラリー矢田で開催しました。現代の多様なメディアの広がりを感じさせるような多彩な作品が、49人の4年生有志によって出展されました。出展した学生は各々が自分の表現方法を追求し、映像、写真、デザイン、インスタレーションなど様々なジャンルの技法を駆使して大学4年間の集大成となる作品を完成させました。7日間の展示期間中に約600人の方にご来場いただきました。展示期間中は学生が作品の制作意図を熱心に来場者に説明する姿が多く見られ、来場者アンケートでもその姿勢が好評でした。本展覧会を通じ、学生は表現することの喜びや難しさを体感したのではないのでしょうか。



### 健康相談室 定例医療講演会特別企画 健康医療科学部健康栄養学科共催講演会 「子どもの食と栄養を考える」

愛知淑徳大学健康相談室では、地域の皆さまに向けて定例医療講演会を開催しています。3月17日には、本学健康栄養学科との共催講演会を行いました。「子どもの食と栄養を考える」というテーマのもと、健康栄養学科教授・榎裕美先生が「子どもの食生活・栄養の現状と問題点」を解説し、特別講師としてお招きした相模女子大学栄養科学部健康栄養学科教授・堤ちはる先生が「子どもにとって、なぜ『食』は重要なのか―食を通して育つもの、育てたいもの―」について語りました。正しい食事が心身の健やかな成長の基盤になることが伝えられ、会場に集まった地域の方々や健康栄養学科の学生たちは真剣に聞き入っていました。



### 第72回高等学校入学式

4月6日、愛知淑徳高等学校の入学式に274人の新入生が臨みました。校長は式辞で「自分をしっかりと持って成長してほしい。豊かな知と精神を持つ人として次世代を担う力をつけてほしい」と話されました。

理事長からは「高校3年間でより充実したものであるように」との励ましの

言葉があり、新入生たちは全員、真剣なまなざしで高校生活のスタートに向けて気を引き締めていました。

高校3年間は中学校3年間以上に心身ともに大きく成長できる時期でもあります。勉強に学校行事に部活にと積極的に取り組み、充実した生活を送れることを願っています。



### 思索と対話の春合宿

高1の宿泊行事である「思索と対話の春合宿」は4月15日～17日に蒲郡市三谷温泉山荘にて行われました。

はじめに、本校のカウンセラーでもある平野先生に講演をしていただきました。次にホテルに戻つてからは自己と向き合うために、用意された資料を読みながら、自分なりの「問い」を探し、黙々と「思索」しました。

さらに「対話」をするためにいくつかの課題に取り組みました。またその合間に卒業生14人から話を聞くことで、刺激を受け、将来について考えるヒントを得ました。

3日間、集団行動の大切さ、コミュニケーションの重要性、問いの難しさ、級友とのレクリエーションの楽しさなどを感じながら、充実した時を過ごしていました。



### 平成29年度中学校卒業式

3月19日、283人が愛知淑徳中学校を卒業しました。曇り空の少し寒い日でしたが、卒業生の顔には晴れ晴れとした表情があふれていました。義務教育を

在校生は「明日の空へ」を

合唱。「遠く遠くあの果てのない空に…」と静かに歌いだすこの曲は卒業生も馴染みなのか、心に響いています。その後卒業生は「信じる」を力強く歌い、保護者の皆様の感動を誘っていました。こうして歌声の響く愛知淑徳の卒業式が終わり、それぞれの生徒は学年を締めくくります。同時に新学期的スタートに備えます。

